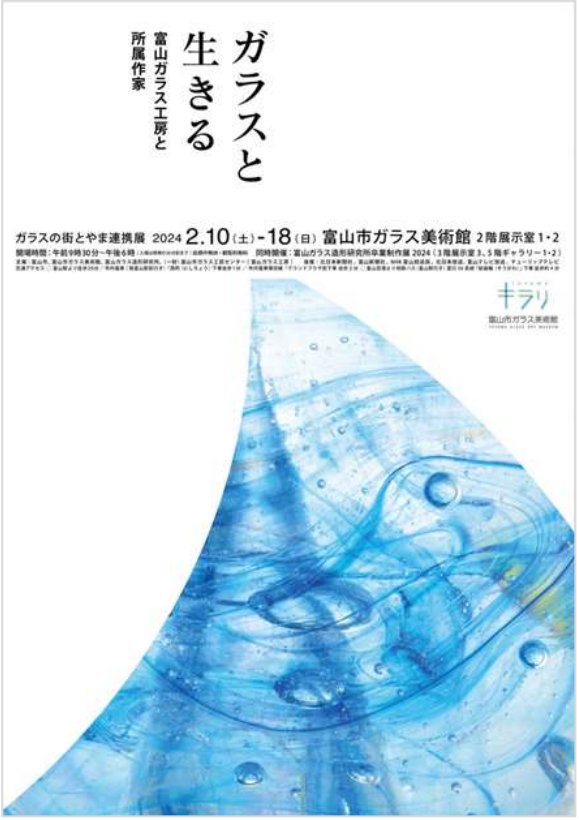
無断複製・転載禁止

ガラスの街とやま連携展

ガラスと生きる

富山ガラス工房と所属作家



展覧会名	ガラスの街とやま連携展　ガラスと生きる富山ガラス工房と所属作家
会　　期	2024 年 2 月 10 日（土）～ 2 月 18 日（日）
会　　場	富山市ガラス美術館 2 階　展示 1･2 （〒930-0062 富山県富山市西町 5 番 1 号）
主　　催	富山市、富山市ガラス美術館、富山ガラス造形研究所、 （一財）富山市ガラス工芸センター[富山ガラス工房]
後　　援	北日本新聞社、富山新聞社、NHK 富山放送局、北日本放送、富山テレビ放送、 チューリップテレビ
開場時間	9：30 – 18：00 (入場は閉場の 30 分前まで)
閉 場 日	なし
観 覧 料	無料

お問合せ
富山市ガラス美術館　〒930-0062 富山県富山市西町 5 番 1 号
Tel 076-461-3100　　Fax 076-461-3310
Email bijutsukan-01@city.toyama.lg.jp　Web toyama-glass-art-museum.jp

展覧会について

富山市は、３０年以上にわたり、ガラスをテーマとした政策をまちづくりの柱の一つに掲げてまいりました。ガラス作家を育成する「富山ガラス造形研究所」（1991 年開校）、文化的産業としてガラスを振興する「富山ガラス工房」（1994 年開設）、芸術としてのガラスを鑑賞できる「富山市ガラス美術館」（2015 年開館）、この三つの柱を拠点に、富山市は「ガラスの街づくり」を推進する世界でも有数の街です。

その一つである富山ガラス工房は、1994 年、制作工房（現・共同工房）にショップを備えてスタートしました。その後 2004 年、より若手作家の定着を促すために、創作工房（レンタル施設）と発表の場としてのギャラリーを増築、2012 年には、より多くの方々がもの作りに親しむことのできる体験工房（第 2 工房）を整備して、幅広い層の方々にガラスの魅力と可能性を伝え、文化的産業としてのガラスの振興に尽力しています。

本展では、全国の工芸メーカーのブランディングとプロダクトデザインを手掛ける大治将典（おおじまさのり）氏をプロデューサーに迎え、現在ガラス工房に所属する 22 名の作家の造形をご紹介いたします。テーマは、「5 年後も作り続けているガラス」。加速する情報化社会で、定番として錆びることなくあり続けるガラスに挑戦いたします。また大治氏との協働制作による、今回限りのインスタレーションも併せてお楽しみください。ガラスと生きる街、とやまの底力をご堪能いただければ幸いです。

展覧会プロデューサー

大治将典 Masanori Oji
Oji & Design 代表／手工業デザイナー

日本の様々な手工業品のデザインをし、それら製品群のブランディングや付随するグラフィック等も統合的に手がける。手工業品の生い立ちを踏まえ、行く末を見据えながらデザインしている。てててて協働組合共同創業者・現相談役。
2015 年高岡クラフトコンペティション審査員、2016 年から同審査委員長。2024 年中川政七商店主催「地産地匠アワード」審査員。 https://o-ji.j

展覧会に当たって所属作家全員にヒアリングをし、彼らのマインドを知ることから始めました。富山ガラス工房は若手作家が多様な作家と腕を磨きあいながら最長 5 年所属ができる機関です。工房に依頼のあるガラスの注文を共同で制作しながら、終業後は自身の作品創りを行い、所属期間中も民間のギャラリーなどと個展やグループ展にも参加できます。駆け出しのガラス作家にとっては理想的な環境です。しかし工房卒業後にガラスで生きていくことを工房が保証できるわけもなく、自身で切り開くしかありません。皆真剣に卒業後どうやってガラスで生きていこうか、不安を抱えながらも生き生きとした眼で将来の夢を話す作家達に心打たれたヒアリングでした。

独立後の保証は自身の作家性しかない、とてもピュアで厳しい世界です。彼らが工房を卒業した 5 年後にもどこかで輝いているこれらの作品を見かけることと思います。彼らのガラスで生きていく覚悟をご覧いただきたいと思います。

お問合せ
富山市ガラス美術館　〒930-0062 富山県富山市西町 5 番 1 号
Tel 076-461-3100　Fax 076-461-3310
Email bijutsukan-01@city.toyama.lg.jp　Web toyama-glass-art-museum.jp

出品作品・作家

粟田 和、片桐 ひまわり、勝木 竜二、菊地 大護、古賀 佳織、佐藤 望美、竹内 駿、竹岡 健輔、田中 沙弥佳、豊岡 智美、中尾 雅一、名田谷 隆平、野田 雄一、野間 恵花、林 あいみ、古野 伶奈、松谷 夏鈴、まぶち ちか、宮本 崇輝、若色 正太、渡邉 あゆ、和田 修次郎（50 音順）

人魚姫　2024 年
粟田 和 Nodoka Awata

黒くて
片桐 ひまわり Himawari Katagiri

（左から）うさぎ　2023 年、クジラ　2023 年、
ビーバー　2022 年ホタルイカ　2021 年
勝木 竜二 Ryuji Katsuki

skittel hip flask　2023 年
菊地 大護 Daigo Kikuchi

お問合せ
富山市ガラス美術館　〒930-0062 富山県富山市西町 5 番 1 号
Tel 076-461-3100　Fax 076-461-3310
Email bijutsukan-01@city.toyama.lg.jp　Web toyama-glass-art-museum.jp

doily-sparkle-　2023 年
古賀 佳織 Kaori Koga

knit –kaleidoscope-
佐藤 望美 Nozomi Sato

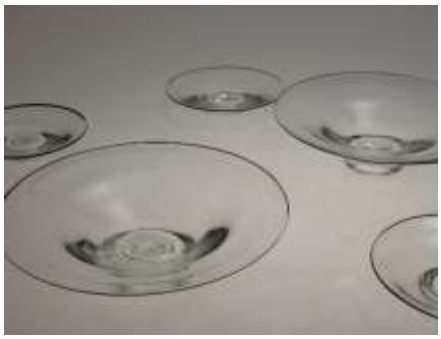
Cliff　2024 年
竹内 駿 Shun Takeuchi

Woven vessel　2023 年
竹岡 健輔 Kensuke Takeoka

硝世界　2023 年
田中 沙弥佳 Sayaka Tanaka

ひと花　2024 年
豊岡 智美 Tomomi Toyooka

お問合せ
富山市ガラス美術館　〒930-0062 富山県富山市西町 5 番 1 号
Tel 076-461-3100　Fax 076-461-3310
Email bijutsukan-01@city.toyama.lg.jp　Web toyama-glass-art-museum.jp



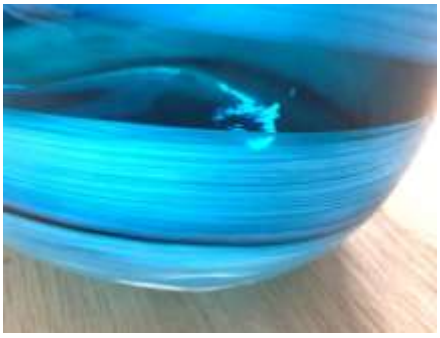
Moire　2022 年
中尾 雅一 Masaichi Nakao

過去から現在
名田谷 隆平 Ryuhei Nadatani

酒器
野田 雄一 Yuichi Noda

玲瓏
野間 恵花 Ayaka Noma

ゆるみ
林 あいみ Aimi Hayashi



花器　いし　2024 年
古野 伶奈 Reina Furuno

お問合せ
富山市ガラス美術館　〒930-0062 富山県富山市西町 5 番 1 号
Tel 076-461-3100　Fax 076-461-3310
Email bijutsukan-01@city.toyama.lg.jp　Web toyama-glass-art-museum.jp

湖の植生 sample. I　2023 年
松谷 夏鈴 Karin Matsutani

ざーざー降りの日
まぶち ちか Chika Mabuchi

水平線の記憶冷酒グラス　2023 年
宮本 崇輝 Tkaki Miyamoto

光と色の表出
若色 正太 Shota Wakairo

水面
渡邉 あゆ Ayu Watanabe

〇△□
和田 修次郎 Shujiro Wada

お問合せ
富山市ガラス美術館　〒930-0062 富山県富山市西町 5 番 1 号
Tel 076-461-3100　Fax 076-461-3310
Email bijutsukan-01@city.toyama.lg.jp　Web toyama-glass-art-museum.jp

展覧会のみどころ

1.「5年後も作り続けているガラス」

工房所属作家22名がこれから5年後も作り続けると決意している技法や作品を展示いたします。作家はたゆまぬ修練の中、それぞれ独自の法則を見い出し、ガラスと一心同体となっていきます。このガラスと生きていくと決めた作家たちの覚悟をどうぞご覧ください。

2. インスタレーション作品「浮かぶ水の中の渦」

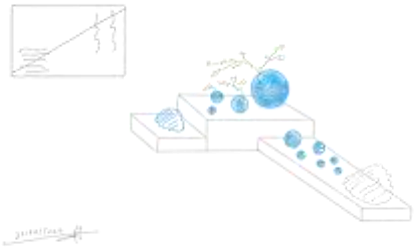
富山ガラス工房には、「共同工房」「創作工房」「体験工房」の3つの部門があります。

今回の展覧会にあたり「共同工房」を紹介する展示として、プロデューサー大治将典氏と所属作家有志たちとでガラスのインスタレーション作品を作り上げました。今回の協働制作では、共同工房の所属作家だけでなく、創作工房・体験工房の所属作家も制作に協力しました。大治氏も全ての制作に立ちあい何度も試作を行いました。大治氏の意図を造形するために各作家がそれぞれの知見から仮説を元にそれぞれが取り組み、一人が見つけた造形方法を全員でシェアし、参加作家全体の技術を向上させ、作品群を全員で作り上げました。

吹きガラスはスポーツに近い運動的なものづくりです。
とろけた熱いガラスを吹き竿にとり、ガラスが落ちそうになるのをすくい上げるように竿を回して重力に抗い、素早く息を吹き込んで丸く膨らませていく。そのぷかりと膨らんだガラスは無重力に浮かんだ水のようです。

その膨らんだガラスの一部を熱して凹ませ、水が吸い込まれていくような渦を造形しました。

無重力の中に重力を宿したガラスの不思議を味わってください。



3. 同時開催「富山ガラス造形研究所 卒業制作展 2024」

富山ガラス造形研究所は、ガラスのプロフェッショナルを目指す学生の研鑽の場として、富山市のガラスの街づくり事業の一つとして1991年4月に開校しました。以来、基礎技術のみならず高度な表現力と造形力を身につけられるよう、独自のカリキュラムによる専門教育を行っております。

このたび、造形科11名と研究科3名が卒業・終了を迎え、いよいよガラス作家への第一歩を踏み出すことになり、2年間の学ぶと研究成果を発表する卒業制作展を、本展覧会と共に同時開催いたします。

学生たちの新たなガラス造形に挑んだ意欲溢れる作品を展示いたします。

お問合せ
富山市ガラス美術館　〒930-0062 富山県富山市西町5番1号
Tel 076-461-3100　Fax 076-461-3310
Email bijutsukan-01@city.toyama.lg.jp　Web toyama-glass-art-museum.jp

関連プログラム

開会式

日　時：2 月 9 日（金）16:00 から
会　場：富山市ガラス美術館　2 階ロビー、2 階展示室 1･2
受付は 15:30 から行います。
開会式終了後は関係者及びマスコミ向けの内覧会を行います。（開会式終了～18:00 まで）
内覧会入り口は 3 階展示室 3（富山ガラス造形研究所卒業制作展 2024 と同入り口）です。

RE＋RE＋RE アクセサリー制作体験

日　時：2 月 10 日（土）～18 日（日）10:30～17:30
会　場：富山市ガラス美術館　2 階ロビー
対　象：4 歳以上（中学生以下は保護者同伴のもと）
料　金：500 円（税込）/1 個
作品のお渡しは当日

同時開催

富山ガラス造形研究所 卒業制作展 2024

会　期：２月１０日（土）～ ２月１８日（日）
会　場：富山市ガラス美術館　３階展示室3
開場時間：9:30 – 18:00 (入場は閉場の30分前まで)
閉場日：なし
観覧料：無料

お問合せ
富山市ガラス美術館　〒930-0062 富山県富山市西町 5 番 1 号
Tel 076-461-3100　Fax 076-461-3310
Email bijutsukan-01@city.toyama.lg.jp　Web toyama-glass-art-museum.jp

無断複製・転載禁止

報道関係のお問合せ先

富山市ガラス美術館
Tel 076-461-3100　Fax 076-461-3310　E-mail bijutsukan-01@city.toyama.lg.jp（代表）
広報担当：渡辺、小谷　　展覧会担当：渡部

美術館公式 SNS アカウント

Instagram

アカウント名
toyamaglassartmuseum

Facebook

アカウント名
toyamaglassartmuseum

Youtube

チャンネル名
ToyamaGlassArtMuseum 富山市ガラス美術館

お問合せ
富山市ガラス美術館　〒930-0062 富山県富山市西町 5 番 1 号
Tel 076-461-3100　Fax 076-461-3310
Email bijutsukan-01@city.toyama.lg.jp　Web toyama-glass-art-museum.jp

無断複製・転載禁止

年　　月　　日

（宛先）富山市ガラス美術館長

担当者：
Tel：　　Fax：
E-mail：
住所：
団体名：

富山市ガラス美術館　画像貸出し申請書

次のとおり掲載用素材として、ガラスの街とやま連携展「ガラスと生きる　富山ガラス工房と所属作家」の画像を申し込みます。

1. 掲載（放映）媒体名：

2. 媒体種別：TV　新聞　雑誌　フリーペーパー　電子書籍　WEB サイト　携帯媒体
その他（　　）

3. 掲載の趣旨
別紙のとおり（媒体資料を添付してください）

4. 掲載（放映）日時：

5. ご希望の画像番号：

○ 画像は原則、全図でご使用ください。トリミング、部分使用、縦横比の変更、文字のせはご遠慮ください。
○ 画像掲出には別途指定するキャプションを必ず入れてください。
○ 展覧会広報のみにご使用ください。他の目的でのご使用は固くお断りいたします。
○ 商品のＰＲ等の商業利用に関しては画像の提供は出来ません。
○ 画像の２次使用はご遠慮ください。
※画像が使用できる期間は展覧会期間内のみとなります。
※同一記事の再掲載や再放送等については再申請が必要となります。
○ 校正ゲラの段階で情報の確認をさせてください。
○ 記事が掲載された場合は掲載見本（DVD、掲載紙、掲載誌等）を美術館広報担当へご寄贈ください。

申請書送付先：富山市ガラス美術館 広報担当　E-mail: bijutsukan-01@city.toyama.lg.jp　Fax：076-461-3310

お問合せ
富山市ガラス美術館　〒930-0062 富山県富山市西町５番１号
Tel 076-461-3100　Fax 076-461-3310
Email bijutsukan-01@city.toyama.lg.jp　Web toyama-glass-art-museum.jp